

平成 30 年度 二俣川地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市二俣川地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

《旭中央地区》

平成 30 年 4 月現在、旭中央地区人口は、5,784 人です。高齢者は 1,507 人であり、高齢化率は、26%となっています。地区の課題としては、地域活動の担い手の高齢化に伴い、新たな担い手がなかなか見つからないこと、子どもの遊ぶ場所や、子どもが地域住民と触れ合う機会が少なくなっていることが、第 3 期旭区地域福祉保健計画内において挙げられています。

《さちが丘地区》

さちが丘地区は旭区南部に位置し、二俣川・南万騎が原・希望ヶ丘の相鉄線 3 駅に囲まれた区域です。平成 30 年 4 月現在、さちが丘地区人口は、10,520 人です。高齢者数は 1,765 人であり、高齢化率は 16%で旭区平均より 10%以上低くなっています。地区の課題としては、団塊世代や元気な高齢者の方に自治会、社協活動に参加を促すことが挙げられています。

《二俣川地区》

二俣川地域ケアプラザのある二俣川駅周辺地区は、横浜市の西部にある旭区の中南部に位置しています。二俣川駅は一日の平均乗降客数が 7 万 7 千人を超える区内最多の駅です。周辺には、神奈川県立がんセンター、神奈川県ライトセンター、運転免許試験場等の広域利用圏をもつ公共施設が立地しており、旭区の中心地区として多くの人が活動する地域となっています。

又、今年、駅南口は再開発事業を実施しており、駅直結の商業施設が立ち並ぶ等、乗客数もさらに増加傾向となっています。平成 30 年 4 月現在、二俣川地区人口は、13,467 人です。高齢者人口は 2,877 人であり、高齢化率は、21%となっています。

二俣川地区は、災害時の要援護者の方への支援体制作りの一環として、地域住民向けの防災マップや要援護者の名簿作成に加え、二俣川地区周辺の地域防災拠点交流会が開催されており、防災活動が活発な地域となっています。しかし、「地域防災拠点が複数存在（二俣川小学校、万騎が原中学校、本宿小学校、さちが丘小学校）する為、どの地域の方がどこに避難すれば良いのか分かりにくい」という課題が残されています。

各地区それぞれにさまざまな課題がありますが、開所年度である今年度は、3 地区の連合自治会や地区社協等が中心となっているさまざまな活動に 5 職種が足を運ばせて頂き、「顔の見える関係」の構築に努め、かつ地域の実情に合った課題解決方法の検討に努めました。今後も地域と連携し、地域と共に課題解決に取り組み、安心して暮らせるまちづくりを目指し、取り組んでまいります。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・高齢者・障害者・子育て支援分野を含めての総合相談窓口の対応マニュアルの整備に努め、かつ、地域資源や、自主事業の紹介など適切なアドバイスが出来ました。
- ・電話・窓口相談だけでなく、各種町内会自治会、民生委員児童協議会の定例会・行事や、老人会や子育てサロン等、エリア内の関連施設に訪問し、福祉保健の情報提供及びその場での相談等にも努めました。
- ・一人暮らし高齢者食事会については、二俣川地区連合・地区社協の歴史ある共催事業の『はなみずきの会』について、開所時に意見交換等を行い、地域ケアプラザ共催事業とし、地域ケアプラザから福祉保健に関連する講話等を行いました。
- ・広報誌の情報発信については、毎月各地区の定例会に伺い、広報誌を配布するなど相談機能の情報発信に努めました。

(2) 各事業の連携

- ・毎朝のミーティング、毎月の所内リーダー会議等を定期的に行い、業務の可視化に努めました。その際に、地域活動交流部門・生活支援コーディネーター部門において地区のニーズのリサーチ・地域住民及び地域団体の方々の生活視点を取り入れた事業を地域包括支援センター3職種と共有し、それぞれ、地域性、専門性を活かした事業を実施。さらに地域団体との共催事業に努めました。
 - ・地域活動交流事業と旭区食生活等改善推進員（ヘルスマイト）にて共催し、8/20『3食しっかり食べよう！』を開催。小学3～6年生を対象に、成長に欠かせない大切な「食事」について、楽しみながら学べる講座を実施しました（17名参加）。
 - ・10/4 二俣川地区保健活動推進員と地域活動交流部門と共催し、『薬剤師さんによる薬の話』を開催し、薬剤師会の先生による講話と、薬についての個別相談のコーナーを設けました（26名参加）。
- 8/22、9/19 二俣川地域ケアプラザ地域包括支援センターにて、笹野台地域ケアプラザ地域包括支援センターと共催し、旭区郵便局職員対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました（44名参加）。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・専門的知識が備わっている人材を配置し、地域からの様々な相談に的確に対応しました。
- ・非常勤含む全職員に対して、年内2回の人事考課面談、定期的管理者面談を実施。職員の相談に応じる環境を整え、勤労意欲の向上、自己啓発に繋げました。
- ・非常勤含む全職員へ法人内外研修を実施し、職員の質の向上に努めました。
- ・職場内会議・OJTにより、職員の資質向上を図りました。
- ・開所時から配置していた地域活動交流コーディネーターが1/15付で退職となりました。しかし、法人内において代替配置についての会議を実施。1/1付で後任の人材配置が完了しました。
- ・朝の朝礼後に小ミーティングを毎日実施。5W1H（いつ・どこで・だれが・なぜ・なにを・どのように）を踏まえて、職員の日行いう事・前日に行った事を地域ケアプラザ内で共有する事によりスケジュール管理だけでなく、地域アセスメントの共有に努める事が出来ました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 3地区の組織団体（連合・地区社協・民児協）の毎月の定例会に出席。情報提供及び情報交換に取り組みました。
- ・ ボランティア活動マップの作成には至りませんでした。地域活動交流部門と生活支援部門において、地域アセスメントを実施。地域課題と同時に現在の地域においてどのような活動が行われているかの情報収集に努めました。
- ・ 活動ホームふたまたがわ・フェニックス旭等、障害者施設との連携を図る為、意見交換や、行事等への参加・協力を努め、共催事業の企画に努めました。
- ・ 二俣川地区連合自治会における研修会の後方支援を実施。会場提供やアンケート集計等に努め、次年度の地区福祉保健計画の取組の検討にも関わりました。
- ・ 2/22に、区民利用施設職員研修会（第3講）に事例発表に関わりました。施設（地域ケアプラザ）の役割及び地域課題への向き合い等の発表を実施しました。

(5) 区行政との協働

- ・ 3地区の地区福祉保健計画小委員会及び会合等へ地域交流・生活支援・地域包括・所長がそれぞれ参加。地域の特性に応じて、地域ケアプラザとしての意見を提案。（特に、旭中央地区については四季めぐり号の運行について地域の生の声をお聞きしながら、行政及び区社協へ意見提起をしました。）
- ・ 地域包括支援センターにおける定例カンファレンスにおいては、行政だけでなく、旭区社協職員の参加を要請。担当圏域でのケース情報共有や、地域の特性及び課題について定期的な意見交換を行い、地域ケア会議等に繋げる事が出来ました。
- ・ 「生活習慣病予防セミナー」、「困難を抱える若者の就労支援事業」等、福祉保健に関連するモデル事業に協力しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ 開所月には、まずは地域ケアプラザへ足を運んで頂くよう、『地域ケアプラザ開所記念コンサート』を5/5こどもの日に地域のボランティア団体の方々の御協力を頂き開催。老若男女問わず200名以上の方が来所されました。
- ・ 主に未就学園児を対象に3歳時検診後等、育ちに不安を感じている親子が安心して過ごす事が出来て、必要な情報が得られる場作りを目的に、旭区こども家庭支援課、横浜市療育センター、旭区子育て支援拠点（ひなたぼっこ）、二俣川地域ケアプラザ共催にて毎月開催事業の『あひるクラブ』を実施しました（平成30年5月より毎月）。
- ・ 二俣川地区一人暮らし高齢者食事会『はなみずきの会』では、地域ボランティアはなみずきの会による手作りの食事提供・福祉保健に関する情報提供、地域団体の発表の場としても活用し、介護予防における体操の時間も設け、健康維持に関する啓発も実施しました（平成30年5月より毎月）。
- ・ 地域団体コミュニティサークル『結』の活動支援と若年層への地域ケアプラザの広報として、8/24に『ミニ縁日』を開催。子供向けのゲームコーナーと、大人向けのハンドマッサージやメイク体験等、子供から大人まで楽しめる事業を地域住民が担い手となり、実施しました（延べ180人以上の参加）。
- ・ 旭区域で人気のあるコンサートを地域ケアプラザで定期的に行う事を企画。外出する事、歌う事で介護予防を目的とする『うたごえ広場スイング』を実施。地域の方々に実行委員会を立ち上げて頂き、ケアプラザ共催として実施。月1回の定例事業として開催。予約申し込みが多く、人気の高い事業となっています。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 8/25 貸館利用団体『貴栄の会』に御協力頂き、『長唄・三味線みんなで楽しむ「和」コンサート』を開催。貸館利用団体の活躍の場、日本伝統文化を広く伝える場として提供。演奏だけでなく、長唄や歌舞伎等の解説や、長唄・三味線の体験会を実施。
- ・ 地域で活動する劇団「ミュージックハウスプロダクツ」より、発表の場についての相談があり、ボランティアとしての発表を提案及び調整。ご協力頂き、子ども達のミュージカルを講演。夏休みにおける親子で楽しめる事業を実施（延べ 90 人以上の参加）。
- ・ 貸館予約会を毎月 1 日に設定。広報誌等にて周知。予約空き情報を受付カウンターに設置し、多くの方々が利用出来るよう環境作りに努めました。
- ・ 地域の町内会館・自治会館での実施は今年度見込めませんでした。町内会から地域ケアプラザと来年度共催したい事業の申し出を頂いています。
- ・ 旭区社会福祉協議会が企画した二俣川小学校における福祉体験授業（12/14）に協力しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 登録頂いている団体向けにボランティアの募集をし、新しいボランティア人材の発掘に努めました。
- ・ 生活支援コーディネーター・地域における団体とブックカフェを設立し、地域包括支援センター、認知症家族の会との共催を視野に入れて、認知症カフェの企画に努めました。
- ・ 『ちくちくの会』という裁縫を活動内容としたボランティアグループを立ち上げました。作品は地域ケアプラザ館内にて展示や、福祉関係施設への寄付を実施しました。認知症啓発におけるロボの人形作成や、発達障害のあるお子さんが遊べる布おもちゃ、布絵本の作成を実施しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 旭区医師会の協力を頂き、区内クリニックに地域ケアプラザ開所時のお知らせを配架頂きました。
- ・ 旭中央・さちが丘・二俣川地区における会合や行事に参加。広報誌の内容だけでなく、登録団体の活動状況等も合わせて報告・連絡・相談。旭中央地区社協開催の食事会については、二俣川地域ケアプラザ自主事業に御協力頂いた『貴栄の会』を紹介させて頂き、多くの方々に三味線・長唄を楽しんで頂く機会となりました。
- ・ 二俣川地区「桐の会」や、グレースシア二俣川等、より住民の生活に密着した環境にも広報誌を配架するように努めました。今後もより一層の配架設置場所の確保に努め、福祉保健活動等に関する情報提供に努めます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

・5職種が連携しながら定例会や地域活動に参加し、小会議（毎朝）、全体会議および委託部門会議（月1回）等を通じて情報共有し、所内連携につなげました。

・高齢者の居場所づくりや社会参加につながる「あかりともるブックカフェ」（H30.10～月1回：各回平均20名）や担い手発掘を目的とした「ふたまたがわ珈琲教室（H31.1～15名）」を企画し、生活支援体制整備事業の実施に取り組みました。こうした情報は、広報誌への掲載や地域活動に参加した際に積極的に広報することで、多くの参加につながりました。

・旭区、区社協および区内の生活支援コーディネーターと連絡会（月1回）を実施し、体制整備の構築に向けて、取組状況などの情報共有を図りました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

・ケアプラザ内、区社協や隣接するケアプラザと情報共有を図りながら、地域活動等に延べ80回以上積極的に参加し、地域と顔の見える関係づくりに力を入れ、ニーズの把握に努めました。

・地域包括支援センターおよび地域活動交流と連携して、地域資源リストとなる「元気づくりマップ」を作成しました（H30.10）。今回は地域での活動のみとしたが、次年度はケアプラザを利用した活動も含めて、掲載範囲を拡大する予定です。

・区社協と区内の生活支援コーディネーターを中心に、「旭区食品スーパー・ドラッグストア配達サービス一覧」を作成しました（H30.6）。ケアプラザ内や地域等に配布し、広く活用されています。

(3) 連携・協議の場

・旭中央・さちが丘・二俣川地区の連合町内会（月1回）、民児協（月1回）、地区社協（3回）、地区計画推進会議等に延べ20回以上参加し、地域の方々との顔の見える関係性づくりに取り組み、地域課題の共有からケアプラザとしてできることの提案に努め、以下の取組につながりました。

・認知症に関わる事業の必要性について地域からの依頼を受け、地域包括支援センターと連携して『認知症家族の会』へ参加しました。

・町内会や老人会などの定例会に参加し、生活支援体制整備事業について説明し、広報活動や困りごとなどの課題共有に努め、適宜専門職につなぐなど、ケアプラザ内の連携を図りながら、課題解決に取り組みました。

・買い物支援の必要性について地域からの依頼を受け、区社協・ケアプラザと共有の上、区内の移動販売視察（H30.9）や実施企業の検討（2回）等の事例を参考にしながら課題解決に向けて取り組みました。この協議の場は、定期的な意見交換となる良い機会となりました。

・二俣川地区のコーヒー豆専門店店主を講師として「ふたまたがわ珈琲教室」（H31.1～）を企画、地域商店と連携しながら、コーヒーを介した交流やボランティア発掘等、課題解決に取り組みました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

・区内の第1層生活支援コーディネーターと第2層生活支援コーディネーターによる連絡会を立ち上げ、各地区で活動されているサロン・食事・ボランティア団体の地域課題を共有し、区域で取り組みました。特にサロン連絡会（H30.11）では、演芸ボランティアとサロンや施設とのマッチングを図り、互いの課題解決に向けた取組を行ったところ、総勢80名を超える参加があり、双方にとって良い機会となる場を提供することができました。この機会を通して課題が解決されたケースの報告も受けたため、引き続き、双方の関わりをサポートしていきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

・各町内会・自治会・老人会の集まりや地域の夏祭り等の催し物に参加し、顔の見える関係作りを進め、ネットワーク構築に努めました。

・3地区の民生・児童委員協議会の会議に毎月、参加しました。また、地域包括と生活支援の職員を写真で紹介するチラシを配布し、ケアプラザや包括の役割周知を行いました（11月）。

・H30.11.5、あさがお協力隊の方を対象とした、地域ケアプラザの施設の機能についての講座を開催しました。

・H31.2.6、旭中央地区で福祉講座を開催しました。

・地域の方達が参加しての介護予防講座（口腔2回、栄養1回、ロコモ体操5回、ウォーキング1回、薬講座1回）を医療機関や薬局等の支援にて開催しました。（31年1月に栄養講座を開催。）

・地域の医療機関、薬局、民生委員、サービス事業者、施設関係者、ケアマネジャーが連携できる様、地域ケア会議、ケアマネ連絡会等を開催し、地域のネットワーク構築支援に努めました。

② 実態把握

・各連合自治会会合、老人会、地域行事等の催し物への参加や、地域活動交流や生活支援との情報を共有することで、高齢者の個別ニーズや圏域のニーズ、インフォーマルサービス等の実態を把握していききました。

・各講座等の開催時の参加者の方々や訪問相談時を活用してアンケートを実施し、内容を纏め、分析して、どの様な情報が求められているか、どの様な課題を抱えているかなどを把握できるように努めました。

③ 総合相談支援

・高齢者に関する様々な相談内容を的確に把握するように努めました。その場で解決できるものはその場で解決し、解決できないものは各関係機関に繋げて解決できるように対応しました。

・継続的に見守り等が必要な件においては、担当を選定し、連携して、継続的に訪問

や電話での相談支援を行っていきました。

・高齢・障がい・子育ての各分野の各種制度の仕組み等を理解して窓口対応が出来るように研修への参加やマニュアルの整備に努めました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・成年後見制度、権利擁護、消費者被害防止などに関連する法制度を理解して、相談への的確な判断をすることで、区役所・区社協等の各担当部署へ繋ぎ、適切な支援が行えるように努めました。

・消費者被害を未然防止する為、民児協の会合、老人会や地域住民の集まりに参加して、事例を通して啓発活動を実施しました。

・行政書士による無料相談会(H30.7.15、H30.12.15)を2回、開催しました(各相談者1名、計2名)。

・成年後見制度講座(H30.9.28)を開催しました。(参加者7名)

・成年後見制度の普及啓発に努め、また、個別相談にて必要に応じて、制度の説明、申立の申請に対して、適切に支援をして制度利用に繋げる事に努めました。

② 高齢者虐待への対応

・高齢者虐待を早期に発見し、対応できるように地域住民、介護保険事業所、医療機関等との情報共有が出来る関係づくりに努めました。ケアマネジャー等からの虐待事例に対し、毎月の定例カンファ等で情報の共有を行い、支援の方向性を検討しました。また、訪問することで、虐待ケースの早期発見・介入に努めました。

・横浜市高齢者虐待防止事業指針に基づいた対応を進めました。

③ 認知症

・旭区福祉保健センター及び関係機関と協働して、旭区徘徊SOSネットワークの普及啓発活動を継続しました。新たにトヨタカローラ神奈川二俣川店が、SOSネットワーク協賛店に登録しました。

・認知症の正しい理解促進のため、認知症サポーター養成講座や講演会の開催をしました。

・南仲尾町内会婦人部との認知症勉強会(H30.8.3・参加者18名)、旭区郵便局員対象の認知症サポーター養成講座を2回開催しました(H30.8.22・21名・9.19・23名、計44名)。

・アルツハイマーデーイベントとして、認知症に関する映画上映と、認知症サポーター養成講座を実施しました(H30.9.18)。

・旭中央地区社会福祉協議会全体研修において地域福祉講座を開催しました(H31.2.6)。

・さちが丘地区蔵屋敷自治会における親睦活動にて認知症サポーター養成講座を開催しました(H31.2.15)。

・認知症家族の集い(H30.11.11、H31.1.13・3.3開催)に参加し、ネットワーク構築に努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・行政及び地域の高齢者支援団体等と協働して、地域ニーズの把握に努めました。
 - ・担当圏域内の町内会館・自治会館等を利用した地域活動に訪問して、地域住民との顔の見える関係づくりに努めました。
 - ・高齢者食事会、体操グループ等の地域のサロン活動へ訪問し、地域包括支援センターの紹介や様々な啓発活動の情報提供と地域のニーズ把握に努めました。
 - ・各地区の民児協の定例会へ毎月出席し、情報交換を行いました。
- また、要支者宅の同行訪問を行うなど情報の共有・連携を図りました。
- ・二俣川地区の一人暮らし高齢者対象の月1回の昼食会(はなみずきの会)に参加し、顔の見える関係作りを行っていききました
 - ・旭区内ケアマネジャー連絡会を計3回実施しました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・担当圏域内の医療機関、介護保険関係機関等を定期的に訪問し、二俣川地域ケアプラザの活動の紹介をし、情報交換を行いました。
- ・医療相談室からの退院調整等の相談ケースについて、家族の意向と本人の状況を把握・整理し、医療相談室との連携を図り、ケアマネジャーとの調整を行うことで、円滑な在宅生活復帰に繋げていききました。
- ・介護予防の委託のサービス担当者会議には、担当職員が参加できない時は、他の包括職員が参加し、連携した支援体制が構築できるように努めました。また、退院カンファレンス等にも参加し、医療関係者との連携に努めていききました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーを地域ケアプラザ協力医に繋げ、利用者家族とケアマネジャーが医療的な助言が得られる機会を作れるよう支援に努めました。
- ・近隣地域ケアプラザと定期的な連絡会(6月・9月・12月の計3回)を開催し、ケアマネジャーのネットワーク支援、ケアマネジメント研修、医療連携の機会を提供していききました。
- ・在宅医療相談室と共催で多職種連携の勉強会を行いました(9月19日)。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・「認知症独居高齢者の在宅生活における権利擁護について」を会議テーマにした、個別レベルの地域ケア会議(H30.7.19)を開催しました。
 - ・「さちが丘地区に暮らす高齢者の地域課題はなにか」を会議テーマにした包括レベルの地域ケア会議(H30.11.1)を開催しました。
- また、H31.1.31には、二俣川地区にて「高齢者の地域課題はなにか」をテーマに包括レベル地域ケア会議を開催しました。
- ・「認知機能が低下された高齢者と知的障害の子を抱える家族の支援体制について」と多問題の家族支援の対する個別レベルの地域ケア会議(H30.12.12)を開催しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 介護予防支援計画を策定する場合は、地域包括支援センター内で随時カンファレンスを行うか、又は毎朝の小会議にて、アセスメントの整合性を検討して、できるだけ自立度の高い生活ができるように適切なプランの作成に努めました。
- ・ 委託先の担当者会議へ担当者または、担当者が参加できない際は、代替りの者が参加し、フォーマルサービス・インフォーマルサービス、地域の集いの場のプランへの位置づけを提案するなど、適切なケアマネジメントが出来るよう支援に努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 地域の方を対象とした介護予防講座として、GOGO健康ステーション（口腔2回、栄養2回、ロコモ体操5回、ウォーキング1回、お薬講座1回）を定期的を開催しました。地域の方が参加できるよう企画いたしました。
- ・ 既存の介護予防につながる活動グループ把握の為、体操グループや高齢者対象の食事会などに計6回訪問して情報を収集しました。
- ・ ケアプラザまで来所できない高齢者の方を対象に、出張講座の提案や既存の地域活動の場を共有させていただき、情報提供の場としていく広報活動を実施しました。

5 その他

二俣川地域ケアプラザの認知度向上への取り組み

- ・ 地域ケアプラザ所在地の周知、事業内容の理解、地域住民と職員との顔の見える関係づくりをすすめるために、積極的に地域に出向いて活動するとともに、広報紙や地図の作成に行政の協力の下、取り組みました。
- ・ 自主企画事業を積極的に企画実施して、地域ケアプラザの事業内容を周知することで認知度の向上を図りました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・指定管理者として、利用者に施設を快適・安全に利用していただくとともに、施設や設備の価値をできる限り維持できるように計画的に管理しました。
- ・運営法人として、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）1U（美しい）の取組を推進しました。職員一人ひとりが施設管理への意識を持つと共に、利用者の視点に立った設備の安全、快適な環境、性能性及び快適性に配慮しながら、きめ細かいメンテナンス対策を進めました。
- ・施設の管理については、日常点検として巡視点検を行い、定期点検については、専門業者に委託して実施しました。点検結果等は報告書等を作成しました。設備管理は、設備・機器自体の保全と共に、適正運転がされることが重要であり、そのため専門業者に委託して、各種点検・検査や測定・記録を実施しました。
- ・施設、設備、機器の追加等については、区役所に報告するとともに、適切に対応しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・二俣川地域ケアプラザの労務・経理等の事務処理に関しては運営法人本部と役割を分担して効率的な運営を行いました。業務の委託や備品購入に当たっては、法人割引等を活用して経費の削減に努めました。
- ・朝礼や職員会議等で職員のコスト意識の高揚を図りました。電力の使用については、こまめな消灯、無駄な機器などの運転をしないことを行いました。
- ・二俣川地域ケアプラザ5部門の連携と情報等の共有を図るとともに、職員会議等で効率的な取組について検討しました。
- ・法人内地域ケアプラザ所長会では知恵を出し合うなど効率的な運営に努めました。

(3) 苦情受付体制について

- ・市役所・区役所に書面をもって報告するとともに、真摯な態度で受け止め、誠意をもって対応する姿勢を職員一人ひとりがもてるように対応しました。
- ・所長を苦情対応の総括責任者とし、各部門の管理者を苦情受付・解決責任者として、館内に掲示するとともに、心のこもった対応と速やかな解決を図るように対応しました。
- ・苦情等の内容は記録として残し、原因追及を図ることで、苦情予防となるように分析して、今後の対策を検討し対応しました。
- ・運営法人として設置している弁護士等を含む第三者委員会により、重要課題については、連絡、相談し、適切な対応・解決に結びつけられるようにしました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・火災・事故・地震・台風などの災害発生時には、結果回避義務(発生事の対応)に従い、すばやく初期対応を行い、マニュアルに基づき全職員が利用者の安全確保ができるように体制を整えました。
- ・ケアプラザの貸館利用者については、災害時の避難誘導の手順、利用者へ火器使用時の注意喚起、爆発物、危険物の持ち込み防止、使用後の清掃、電気ガスの消し忘れ等点検チェックリストを利用した点検を利用者に周知するとともに、職員も日常的にチェックリストによる巡視点検を行い事故防止対策に取り組みました。
- ・地域の防災訓練、防災講演会、その他の地域行事に参加して、日頃から「顔の見える関係づくり」に努め有事に備えました。
- ・福祉避難所の登録を行い、その役割を認識するとともに、備蓄物資を適正に管理しています。
- ・防犯対策は、鍵の管理責任者は所長、閉館に当たっては閉館前に職員が全館を巡視し施錠の確認を行うとともに、点検表により、全館点検、戸締り等を徹底、夜間等は警備会社（機械警備）と連携し、事故防止を図っています。

(5) 事故防止への取組について

- ・事故防止については、法人統一の事故防止マニュアルがあり、対応フロー、連絡体制、報告判断基準も明示しています。また、日常的に正確な動作を行うことを徹底すると共に、なすべき動作の欠落がないよう相互チェックを行う等、非常事態時に対応できる研修等を行っています。
 - ・各部署の会議等で、事故防止、感染症対策等の取組を行い、発生した事故を検証し、事故の減少に努めています。
- サービス提供時に発生したヒヤリハットについては、職員会議等で検討会を開催し、事故防止に関する重要な情報として活用しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報の保護については、「個人情報の保護に関する法律」等の法令、厚生労働省のガイドライン、横浜市の「個人情報保護条例」を遵守しています。また、運営法人における「個人情報保護に関する規程」に従って、利用者の権利・利益を保護するために、個人情報の適切な取扱いに関し、必要な事項を「個人情報保護に関するマニュアル」に定め、職員に対し研修を実施しています。

「個人情報保護に関するマニュアル」概要

- ① 「個人情報保護チェックリスト」を用いて、職員は年 1 回以上、セルフチェックを行う。
- ② 個人情報を業務上必要な関係者以外には伝えない。
- ③ 個人情報を得るときは使用目的を明確に伝え、了解を得る。
- ④ 個人情報は業務上必要性がない者が閲覧等出来ないよう厳重に保管管理する（夜間等、不在時施錠、机上放置不可）。
- ⑤ 情報の伝達などに当たっては複数回のチェックを行ない、個人情報の漏れやFAXの誤送信等がないように留意する。
- ⑥ 不要の持ち出しを禁ず。
- ⑦ やむを得ず個人情報をFAX等する場合は、個人が特定できないよう、マスキング等の処置をする。

・職員研修等

- ① 職員を採用した時には「個人情報の保護に関する誓約書」を提出させています。
- ② 採用時研修において、個人情報の保護について、必須科目として習得します。配属後は、年1回以上職場研修を行っています。
- ③ 他事業所等の個人情報の漏洩事例については、職員会議(欠席者には事例回覧)等で周知すると共に、注意を喚起しています。

(7) 情報公開への取組について

・横浜市指定管理料等によって運営されている地域ケアプラザの事業は、広く住民に状況が開示されることを当然と受け止め、「指定管理者の情報の公開に関する標準規程」に準じて、適正な対応を行いました。

・二俣川地域ケアプラザで発行する広報紙「二俣川地域ケアプラザ通信」(毎月1回発行)で、二俣川地域ケアプラザの運営状況等を公開しました。また、運営法人のホームページ等で事業の紹介などを行いました。介護サービス情報の公表では、神奈川県指定機関による確認を経て開示しました。

・ケアプラザ窓口にて、事業計画書等を常時備え付け、閲覧出来るようにしました。

(8) 人権啓発への取組について

・社会的少数者への認識を深め、差別に反対し平等な社会を築くことを目標に、障がい者や、高齢者の問題、子どもの問題なども含めた、人権擁護に対する研修を行い、職員が人権尊重のための正しい知識を得られるよう努めています。

・問題発生時に地域ケアプラザとして適切な対応ができるよう人権に対する教育体制を整え、内外の関連研修等にも積極的に参加するようにしています。

(9) 環境等への配慮及び取組について

・ 横浜市は、環境方針において、理念及び基本方針が出されています。公の施設である地域ケアプラザも、これに基づき取り組みました。

・ 横浜市のごみゼロ「ヨコハマ3R夢プラン」の理解と実践をしています。

①リデュース(Reduce)

ごみそのものを減らします。出来るだけ物は購入しない。特に、OA機器の普及に伴ってコピー用紙などが増える傾向があるため、購入量をチェックするなど、紙の使用量の削減を図っています。

貸館御利用者等の部屋利用に当たっては、ごみの発生抑制をお願いしています（例：使い捨ての割り箸や容器は使わない、館の箸や容器を使う）。

②リユース(Reuse)

購入する場合、繰り返し使えるものを利用しています。不要紙の裏紙の利用等、小さなことでも徹底した取組によって、職員にゴミの減量化を意識づけています。

③リサイクル(Recycle)

・物を最後に廃棄する場合、全職員が、手順書に基づいた分別の徹底を図っています。

・電気・ガス等エネルギーの使用の削減に努めています。

① 節電対策として、不要な電灯は消灯、空調設備の運転は冷暖房の設定温度を夏季28度、冬季20度を目安に設定して温度管理を行いました。

② 服装等は、クールビズ、ウォームビズで対応しました。

③ 窓開けやブラインド使用により冷暖房の効率化を図りました。

・建物内外の整備をおこないました。

・法人内の美化活動5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）1U（美しい）運動を推進し、来訪者が気持ちよく活動できるように取り組んでいます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 : 常勤1名（地域包括支援センター社会福祉士を兼務）
計画作成担当者 : 常勤4名（管理者兼務1名）
地域包括支援センター保健師 兼務1名
地域包括支援センター社会福祉士兼務2名（管理者兼務1名）
地域包括支援センター主任ケアマネジャー兼務1名

《目標に対する成果等》

- ・ご利用者の選択を第一として関係事業者等との連携を図りながら、介護予防支援事業を推進しました。
- ・介護保険法等関係法令の遵守目標に対して介護事故等なく健全運営を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ・無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域内独居高齢者等の見守り推進の一環として、民生委員児童委員協議会委員等と連携しながら個別訪問し、地域ケアプラザ作成リーフレットや、行政機関からの情報紙面を用いての制度の啓発をしました。
介護保険サービスだけでなく、各種インフォーマルサービスを計画に加えることで、より本人の自立を目指した支援を行っています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
なし	146	154	162	173	172
10月	11月	12月	1月	2月	3月
172	177	175	172	177	179

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 : 常勤 1 名 (介護支援専門員を兼務)
 介護支援専門員 : 常勤 5 名 (専従 4 名 管理者兼務 1 名)

《目標に対する成果等》

利用者が要介護状態となった場合においても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者自らの選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、総合的かつ効果的な居宅サービス計画に基づいて提供されるよう配慮しました。また、特定の種類または特定の居宅サービス事業者に不当に偏することのないよう、公正中立にサービスの利用調整を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域福祉拠点である地域ケアプラザ内の居宅介護支援事業所として、地域包括支援センター併設の利点を生かし、困難ケースにも積極的に対応を行った。
 また、当該地域の住民による自発的な活動によるサービス等の利用も含めた支援を心がけた。
 特定事業所加算（Ⅱ）を算定。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	45	51	64	80	78
10月	11月	12月	1月	2月	3月
74	77	81	80	91	83

● 通所介護・認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

-
-

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ :

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 対象外

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者） 円
 - （要支援1） 円
 - （要支援2） 円
- 食費負担 円
-
-

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ :

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「横浜市二俣川地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,786,068	708,157	19,494,225	18,866,112	628,113	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業	0		0	92,700	△ 92,700	
自主事業収入			0		0	
雑入	0		0	60,178	△ 60,178	
印刷代	0		0	14,680	△ 14,680	
自動販売機手数料			0	45,498	△ 45,498	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	18,786,068	708,157	19,494,225	19,018,990	475,235	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,373,778	0	10,373,778	12,223,136	△ 1,849,358	
本俸	8,527,248		8,527,248	9,127,439	△ 600,191	基本給
社会保険料	688,820		688,820	1,332,314	△ 643,494	健康保険・厚生年金・雇用保険・労働保険料
手当計	1,086,130		1,086,130	1,683,389	△ 597,259	諸手当
健康診断費	5,190		5,190	14,636	△ 9,446	職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	66,390		66,390	65,358	1,032	退職共済掛金
その他	0		0	0	0	
事務費	1,728,833	0	1,728,833	1,937,683	△ 208,850	
旅費	51,170		51,170	23,584	27,586	外出時交通費
消耗品費	511,220		511,220	546,289	△ 35,069	事務用品他
会議賄い費	8,470		8,470	0	8,470	
印刷製本費	136,230		136,230	438,353	△ 302,123	カウンター料金
通信費	255,520		255,520	537,219	△ 281,699	電話・携帯電話・郵送料
使用料及び賃借料	0	0	0	8,800	△ 8,800	
横浜市への支払分			0	8,800	△ 8,800	目的外使用料
その他			0	0	0	
備品購入費	170,460		170,460	150,552	19,908	電子ピアノ他
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	27,140		27,140	4,917	22,223	賠償保険
職員等研修費	17,120		17,120	13,333	3,787	研修受講料
振込手数料	8,470		8,470	27	8,443	
リース料	97,850		97,850	16,595	81,255	マットレンタル料他
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	17,120		17,120	0	17,120	
その他	428,063	0	428,063	198,014	230,049	
事業費	516,175	0	516,175	391,675	124,500	
運営協議会経費	38,500		38,500	13,865	24,635	
指定管理料充当 事業	477,675		477,675	377,810	99,865	
管理費	5,337,380	708,157	6,045,537	4,784,346	1,261,191	
建築物・建築設備点検	0	708,157	708,157	0	708,157	
光熱水費	444,728	0	444,728	702,663	△ 257,935	
電気料金			0	259,379		
ガス料金			0	352,789		
水道料金			0	90,495		
清掃費	559,010		559,010	651,262	△ 92,252	
修繕費	434,500	0	434,500	0	434,500	
機械警備費	201,310		201,310	234,630	△ 33,320	
設備保全費	196,430	0	196,430	157,673	38,757	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	73,310		73,310	24,573	48,737	
電気設備保守	35,150		35,150	30,716	4,434	
害虫駆除清掃保守	87,970		87,970	102,384	△ 14,414	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	3,501,402		3,501,402	3,038,118	463,284	
公租公課	829,902	0	829,902	977,850	△ 147,948	
事業所税			0	0	0	
消費税	829,902		829,902	977,850	△ 147,948	
印紙税			0	0	0	
その他 ()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	18,786,068	708,157	19,494,225	20,314,690	△ 820,465	
差引	0	0	0	△ 1,295,700	1,295,700	

自主事業費収入	477,675		477,675	92,700	384,975	自主事業への参加料等
自主事業費支出	477,675		477,675	377,810	99,865	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 285,110	285,110	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	45,498	△ 45,498	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	8,800	△ 8,800	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	36,698	△ 36,698	

平成30年度「横浜市二俣川地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	26,178,464	188,243	26,366,707	26,105,240	261,467	横浜市より
指定管理料（介護予防）	138,417		138,417	138,417	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,306,584		5,306,584	5,306,584	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	46,300	△ 46,300	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	45,528	△ 45,528	
印刷代	0		0	30	△ 30	
自動販売機手数料	0		0	45,498	△ 45,498	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	31,623,465	188,243	31,811,708	31,642,069	169,639	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,407,543	0	28,407,543	28,395,345	12,198	
本俸	18,808,573		18,808,573	15,785,178	3,023,395	基本給
社会保険料	3,798,690		3,798,690	3,539,713	258,977	健康保険・厚生年金・雇用保険・労働保険料
手当計	5,401,550		5,401,550	8,505,768	△ 3,104,218	諸手当
健康診断費	23,730		23,730	19,924	3,806	職員健康診断
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	375,000		375,000	455,762	△ 80,762	退職共済掛金
その他	0		0	89,000	△ 89,000	
事務費	704,000	0	704,000	1,122,269	△ 418,269	
旅費	69,200		69,200	126,984	△ 57,784	外出時交通費
消耗品費	49,420		49,420	210,041	△ 160,621	事務用品他
会議随費	4,930		4,930	18,343	△ 13,413	
印刷製本費	39,490		39,490	119,814	△ 80,324	カウンター料金
通信費	148,190		148,190	261,437	△ 113,247	電話・携帯電話・郵送料
使用料及び賃借料	0	0	0	8,800	△ 8,800	
横浜市への支払分	0		0	8,800	△ 8,800	目的外使用料
その他	0		0	0	0	
備品購入費	49,420		49,420	0	49,420	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	4,150		4,150	4,508	△ 358	賠償保険
職員等研修費	39,490		39,490	29,475	10,015	研修受講料
振込手数料	990		990	157	833	
リース料	116,020		116,020	4,411	111,609	マットレンタル料他
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	9,860		9,860	0	9,860	
その他	172,840	0	172,840	338,299	△ 165,459	
事業費	1,093,125	0	1,093,125	820,842	272,283	
協力医	577,500		577,500	483,000	94,500	
指定管理料充当 事業（包括）	93,958		93,958	78,315	15,643	
指定管理料充当 事業（介護予防）	138,417		138,417	133,123	5,294	
指定管理料充当 事業（生活支援）	283,250		283,250	126,404	156,846	
管理費	1,418,797	0	1,418,797	1,271,782	147,015	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	120,519	0	120,519	186,783	△ 66,264	
電気料金			0	68,948		
ガス料金			0	93,782		
水道料金			0	24,053		
清掃費	151,450		151,450	173,118	△ 21,668	
修繕費	115,500		115,500	0	115,500	
機械警備費	54,560		54,560	62,370	△ 7,810	
設備保全費	53,210	0	53,210	41,911	11,299	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	19,840		19,840	6,531	13,309	
電気設備保守	9,540		9,540	8,164	1,376	
害虫駆除清掃保守	23,830		23,830	27,216	△ 3,386	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	923,558		923,558	807,600	115,958	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	31,623,465	0	31,623,465	31,610,238	13,227	
差引	0	188,243	188,243	31,831	156,412	

自主事業費収入	0		0	46,300	△ 46,300	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	337,842	△ 337,842	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 291,542	291,542	

管理許可・目的外使用許可収入			0	45,498	△ 45,498	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0	8,800	△ 8,800	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	36,698	△ 36,698	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市二俣川地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②参加人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
ふたまたがわ珈琲教室	①地域一般	45892	地活	21500		13364	32528	
	②43名		包括					
	③1回500円		介護					
			生活					
あかりとるBOOKCAFE	①地域一般	31487	地活	15,300	9,500	6,681	24,806	
	②145名		包括					
	③100円(飲み物代)		介護					
			生活					
行政書士無料相談会	①地域一般	0	地活					
	②5名		包括					
	③0		介護					
			生活					
アルツハイマーデイイベント 認知症サポーター養成講座・映画鑑賞会	①地域一般	34940	地活	34940			33750	1190
	②41名		包括					
	③0		介護					
			生活					
認知症サポーター養成講座(旭区郵便局員対象)	①旭区郵便局員	0	地活					
	②44名		包括					
	③0		介護					
			生活					
成年後見制度講座	①地域一般	0	地活					
	②7名		包括					
	③0		介護					
			生活					
さちが丘和蔵会認知症サポーター養成講座	①65歳位	31000	地活	31000			31000	
	②36名		包括					
	③0		介護					
			生活					
みどり会体力測定会	①65歳以上	6357	地活	6357			6357	
	②30名		包括					
	③0		介護					
			生活					
ケアマネジャー事業所連絡会	①ケアマネジャー	9964	地活	9964		9964		
	②52名		包括					
	③0		介護					
			生活					
ふたまたがわGOGO健康ステーション	①65歳以上	78666	地活	78666		70000	4746	3920
	②152名		包括					
	③0		介護					
			生活					
南仲尾町内会婦人部との認知症勉強会	①婦人会員	0	地活					
	②18名		包括					
	③0		介護					
			生活					
多職種連携のススメ	①介護・医療専門職	33411	地活	33411		33411		
	②40名		包括					
	③0		介護					
			生活					

平成30年度 自主事業収支報告書

スクエアステップ講座	①65歳以上	17100	地活		15000		2100
	②91名		包括	17100			
	③0		介護				
			生活				
開所記念コンサート	①地域一般	22924	地活	22924	15000	7924	
	②200名		包括				
	③0		介護				
			生活				
あひるクラブ	①子育て世代	0	地活				
	②242名		包括				
	③0		介護				
			生活				
はなみずきの会	①65歳以上	336	地活	336		336	
	②625名		包括				
	③0		介護				
			生活				
歌声コンサート	①地域一般	3000	地活	3000	3000		
	②94名		包括				
	③0		介護				
			生活				
ミュージカルピノキオ	①地域一般	0	地活				
	②66名		包括				
	③0		介護				
			生活				
食育講座「3食しっかり食べよう」	①地域一般	0	地活				
	②32名		包括				
	③0		介護				
			生活				
ミニ縁日	①地域一般	30600	地活	30600	30600		
	②180名		包括				
	③0		介護				
			生活				
長唄・三味線みんなで楽しむ『和』コンサート	①地域一般	15568	地活	15568	15568		
	②78名		包括				
	③0		介護				
			生活				
うたごえ広場スウィング	①地域一般	63565	地活	63565	63565		
	②594名		包括				
	③0		介護				
			生活				
らくらく体操	①65歳以上	63000	地活	45400	17600	63000	
	②176名		包括				
	③100円		介護				
			生活				
身体にやさしいヨガ	①子育て世代	60000	地活	40500	19500	60000	
	②77名(子ども含む)		包括				
	③500円		介護				
			生活				
吹いて歌って心をつなぐコンサート	①地域一般	3000	地活	3000	3000		
	②65名		包括				
	③0		介護				
			生活				

平成30年度 自主事業収支報告書

シニアヨガ	①65歳以上	80000	地活	35200	44800		80000		
	②228名(見学含む)		包括						
	③200円		介護						
			生活						
スマートフォン活用講座	①65歳以上	0	地活						
	②94名		包括						
	③0		介護						
			生活						
シニア英会話	①65歳以上	25000	地活	14200	10800		25000		
	②54名		包括						
	③200円		介護						
			生活						
ちくちくあさひ	①地域一般	5568	地活	5568			5568		
	②47名		包括						
	③0		介護						
			生活						
パン作りあかりともるブックカフェ	①地域一般	5249	地活	5249			3000	2249	
	②29名		包括						
	③0		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市二俣川地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
開所記念コンサート	<p><目的> ケアプラザの周知。</p> <p><内容> ベトナム民族楽器トルンのコンサートと、子ども広場の実施。子ども広場では地域ボランティアグループによるパルーンアートと地域の方が考案されたゴルフボールカーリングコーナーを設置。また、ケアプラザ主体で輪投げコーナーとこいのぼりぬり絵を実施。</p>	5月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あひるクラブ	<p><目的> 地域の子育て事業所との連携。</p> <p><内容> 子育て支援拠点や療育センターによるプログラム、横浜市体育協会講師による体操など、参加動機に繋がるプログラムを設けつつ、育ちの不安に関する相談を受けられる環境を作る。日ごろ子育て支援拠点など大勢の中で過ごす場に行きにくさを感じている親子が安心して過ごせる環境と、専門職やケアプラザなどから様々な情報も得ることができる場として実施。</p>	毎月開催・8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はなみずきの会	<p><目的> 地域の要望。日ごろ外に出にくい高齢者の居場所。登録団体の福祉保健活動の場として。</p> <p><内容> 地域ボランティア「はなみずきの会」による手作りの食事の提供。歓談の時間とケアプラザや、地域活動団体からの福祉保健に関する情報提供、お楽しみとして趣味を活動とした地域団体の発表の場としても活用。最後に日常的に簡単にできる体操の時間を設け、健康維持に関する啓発も行う。</p>	毎月開催・8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声コンサート	<p><目的> ケアプラザの周知。</p> <p><内容> 神奈川合唱団をゲストとして迎え実施。区域合同歌声喫茶においてもPRをし、二俣川地域ケアプラザの開所を広く周知し、来所の機会としていただいた。</p>	7月・1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミュージカル ピノキオ	<p><目的> 地域の子供達の活躍の場として。多世代交流の場として。</p> <p><内容> 地域で活動する劇団「ミュージックハウス・プロダクツ」の子どもたちによるミュージカル。自身たちの発表の場として、ボランティアで公演していただいた。</p>	8月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
食育講座「3食 しっかり食べよう」	<p><目的> ヘルスメイトと共催。小学生食育。</p> <p><内容> ヘルスメイトと共催にて、小学生を対象とした食育講座。3食食べることの大切さと、朝食などで小学生にでも出来る簡単なメニュー（おにぎり、お味噌汁、サラダ）の実習を行った。</p>	不定期・2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニ縁日	<p><目的> ケアプラザの周知。登録団体の活動支援。</p> <p><内容> 地域活動団体「コミュニティーサークル結」より提案いただいたミニ縁日を共催という形で実施。子ども向けのゲームコーナーと大人向けの体験コーナー（ハンドマッサージやメイクなど）を地域住民が担い手となり実施し、子どもから大人まで楽しめる縁日として行った。</p>	8月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
長唄・三味線 みんなで楽しむ 『和』コンサート	<p><目的> 日本伝統芸能の継承。地域の方（高齢者）の居場所づくり。</p> <p><内容> 貸館登録団体「貴栄の会」に協力いただいたの長唄と三味線のコンサート。演奏だけではなく、長唄の解説や歌舞伎についてなどのお話も行った。コンサート後には、長唄と三味線の体験会を実施。会場には長唄の資料や楽譜、歌舞伎に関する書籍などを展示した。</p>	8月、3月・2回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたごえ広場スウィング	<p><目的> 健康の為、歩いてケアプラザに来ていただき、声をだしてもらおう。</p> <p><内容> 定例で歌うコンサートの実施を希望される地域の方々に実行委員会を立ち上げていただき、ケアプラザ共催として実施した。アコーディオンの演奏に合わせて童謡、歌謡曲、唱歌など様々なジャンルの歌を会場全体で歌った。月1回の定例事業として実施する。</p>	毎月開催・7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく体操	<p><目的> 健康のため。友達作りの場として。</p> <p><内容> 初心者の方が安心して参加できる体操の場としてプログラムを検討。自主化を目指すよりも体操に慣れた上で、既存のグループへのコーディネートなどを行い、新しい方の受入を行っていく。</p>	7月～3月・6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
身体にやさしいヨガ	<p><目的> 子育てママの情報交換の場として。居場所づくり。健康のため。</p> <p><内容> 「ヨガ」を通してリラクゼーションや産後のおなか周り、骨盤の歪みの緩和など心身を見つめ直す機会とする。ヨガをきっかけとして集まり、子育てに関する情報交換やネットワーク化を目指し、ケアプラザとしても子育て支援情報などの提供を行う。</p>	10月～3月・6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
吹いて歌って心をつなぐコンサート	<p><目的> 「貸館利用団体や地域団体の活躍の場として企画。音楽を通じた地域交流や仲間づくりにも繋げていく。区域歌声喫茶との連動も目指す。</p> <p><内容> 「音楽」をテーマに活動される貸館利用団体や地域団体に協力いただき、皆で歌える参加型コンサートを実施する。回ごとに地域活動団体をゲストとして招き、地域活動のPRにも活用する。聴くだけでなく歌うコンサートという意味合いでは健康づくりの要素を含めた事業と考える。</p>	11月・1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアヨガ	<p><目的> 友だち作りの場として。健康の為。</p> <p><内容> 1.5時間ヨガを行う。無理のないように、ゆったりしたペースで行う。</p>	12月～3月・8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スマートフォン活用講座	<p><目的> ご要望の多いスマホの使い方講座。お友達作りの場として。趣味をみつけてもらうため。</p> <p><内容> 地図アプリ、通話、写真、動画、メール等の基本的な機能紹介。実際に使って便利さ、楽しさを実感してもらう。仲間や趣味を見つけるツールとして、安心して使ってもらおう。</p>	11月～12月・4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア英会話	<p><目的> 居場所づくり。脳トレ。</p> <p><内容> 脳トレ感覚で学ぶ。中学英語の基礎からの初心者向け英会話教室。</p>	1月～3月・5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
行政書士無料相談会	<p><目的> 地域住民を対象とした成年後見制度・相続・遺言等における相談の場を設ける。</p> <p><内容> 行政書士2名による成年後見・相続・遺言などの無料相談会。</p>	7月15日・12月15日・2回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
アルツハイマー デイイベント 認知症サポ ーター養成講座・ 映画鑑賞会	<p>〈目的〉 地域住民に対する ①認知症サポーターや映画鑑賞を通じての認知症についての啓蒙活動。 ②地域ケアプラザ・地域包括支援センターの役割理解・関係性構築。</p> <p>〈内容〉 ①認知症サポーター養成講座。 ②映画鑑賞会。 認知症関連映画「わが母の記」の上映。</p>	9月18日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポ ーター養成講座 (旭区郵便局員 対象)	<p>〈目的〉 旭区郵便局員に対する ①認知症サポーターを通しての認知症理解の啓発。 ②SOSネットワークシステム及び地域ケアプラザの役割の理解。 ③地域ケアプラザとの関係性作り。</p> <p>〈内容〉 認知症サポーター養成講座の内容に基づき、 ①認知症とは。 ②SOSネットワークシステム及び地域ケアプラザの説明。 ③認知症の心理的理解。 ④認知症関連のDVD鑑賞・演習。</p>	8月22日・9月19 日・計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度講 座	<p>〈目的〉 地域住民対象の成年後見制度・相続・遺言等における講座。</p> <p>〈内容〉 ①行政書士2名による成年後見・相続・遺言などについての講演会。 ②講演会后、個別の無料相談会。</p>	9月28日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さちが丘和蔵会 認知症サポ ーター養成講座	<p>〈目的〉 ①認知症サポーター養成講座を通して認知症の理解の啓発。 ②二俣川地域ケアプラザとの関係性の構築。</p> <p>〈内容〉 ①認知症サポーターキャラバンとは。 ②認知症の理解。 ③介護予防体操。 ④ケアプラザの役割等の紹介。 ⑤質疑応答。</p>	2月15日・1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みどり会体力測定会	<p><目的> 地域高齢者の体力測定を行い、健康への取組の指標として頂く。</p> <p><内容> ・体力測定と測定結果の評価・判断を助言。 ・普段からできる介護予防への取組の話。</p>	3月20日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふたまたがわ珈琲教室	<p><目的> ブックカフェでのコーヒー人材の確保、サロンでのニーズ等から、高齢者の居場所づくりからボランティアの発掘・養成のため。</p> <p><内容> 初心者向けのコーヒー講義と淹れ方、またフードペアリングとしてコーヒーと楽しむパン作りを実施。</p>	1月～2月：計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あかりともるBOOK CAFÉ	<p><目的> 絵本を通じた、世代を問わずに集える居場所作りのため。</p> <p><内容> コーヒーボランティアによるコーヒーと絵本を楽しむ。</p>	10月～3月：計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー事業所連絡会	<p><目的> 高齢者が適切なサービスを継続して利用できる様、地域の医療施設などと常に連携を取れるように研修を通じてケアマネジャーの支援等を行う。</p> <p><内容> 医療と介護との連携について。 医師からケアマネジャーとの連携等の講義。</p>	6月・12月・2回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふたまたがわ GOGO健康ステーション	<p>〈目的〉 地域高齢者を対象とした介護予防の普及を目的とする。</p> <p>〈内容〉 ロコモ予防、口腔機能改善、栄養改善、認知症予防等に関する各講座に講師を招き、講話や実技を取り入れる。</p>	6月・7月・8月・9月(2回)・10月・11月・12月・1月・9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南仲尾町内会婦人部との認知症勉強会	<p>〈目的〉 ①二俣川地域ケアプラザの周知。 ②南仲尾町内会婦人部の方との交流を図る。 ③認知症ケアについて理解を深めてもらう。</p> <p>〈内容〉 ①ケアプラザ施設見学。 ②認知症基礎知識説明・自己チェックシート実施。 ③認知症のビデオ上映会。 ④意見交換会。</p>	8月3日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多職種連携のススメ	<p>〈目的〉 多職種連携の必要性及び課題解決に係る講義の実施と同時に事例検討等のグループワークを実施する事により、相互理解を深め地域のケアマネジャーのケアマネジメント業務の質を高める。</p> <p>〈内容〉 講師による多職種連携の講義の実施。 1つの事例を通して多職種でのグループワークの実施。</p>	9月19日・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップ講座	<p>〈目的〉 転倒防止・認知症予防・身体機能の向上を目的とした、エクササイズ。</p> <p>〈内容〉 講師による指導のもと、高齢者向けの脳と体を同時に動かし、介護予防を進めて行く。</p>	9月・1月・2月・3月・4回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちくちくあさひ	<p><目的> それぞれが感じる生活課題（介護や自身の障がいなど）について語り合える場としていく。</p> <p><内容> 主な活動としては裁縫。認知症啓発に繋げるロボの人形作成や、発達障がいのあるお子さんが遊べる布おもちゃや、布絵本の作成など。 裁縫を活動内容としたボランティアグループを立ち上げる。作品は館内にて展示や、関係施設への寄付などを行う。先々は自主財源の確保を目的として、販売も検討。</p>	7月・8月・9月・10月・11月・12月・2月・3月/8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パン作りあかり ともるブックカフェ	<p><目的> ケアプラザを使った居場所づくりの一環として。</p> <p><内容> BOOKCAFEのオープン日に、地域で活躍されている講師によるパン作りを実施、軽食として提供し、パンとコーヒー、絵本を楽しむ空間を創出した。</p>	10月・1回